

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	English A		
英文授業科目名	English A		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目Ⅰ		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	田中 智子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>世界で起こっているタイムリーな話題にビデオの映像を通して接し、読む・聴く・書く・話すの4技能を訓練するとともに、英語による自己表現力の向上を目指す。</p> <p>本テキストが取り上げる話題は、我々にも身近なボランティアやオリンピックから、テロ・貧困といった社会問題まで幅広い。その多くは賛否両論拮抗する話題であったり、またその問題解決に向け、様々なアイデアが想起できるものであろう。こうした世界各地の話題が提起する問題を、英語を通して理解し、考え、最終的に自分の考えを英語で適切に発信できるよう学習していく。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
Topics in International Society John S. Lander 著 (朝日出版社)

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

各ユニットごとに概ね以下の項目に沿って進める。

- ・VTRの内容が予習できるIntroductionの速読と主要な語彙・表現の確認
- ・ビデオ番組の視聴及び内容理解のための各種タスク
- ・ペアワークやグループディスカッションの場で意見交換した結果を英語で書いてまとめたり、グループで発表する。
- ・その他、各種新聞、雑誌、インターネット等から収集した関連資料の速読

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：以下の要素を総合的に評価する。

小テスト、課題（授業中に指示）の達成度、出席/授業への積極的参加、期末試験

評価基準：以下の到達レベル/条件をもって合格の最低基準とする。

- ・ビデオ番組の大意を字幕なしで把握できる。
- ・新聞、雑誌等の大意をあまり時間をかけずに的確に理解できる。
- ・平易な英語を使って、自分の伝えたい事を書き、話すことが出来る。
- ・決められた課題が全て受理されている。
- ・学期中3分の2以上の出席を満たす。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、授業時間の前後にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

皆さんの積極的な参加が不可欠の授業です。目と耳を総動員し、授業時間を十分活用して楽しく英語を学んで下さい。

【その他】